

## 2012年 新春ご挨拶

社団法人 日本加工食品卸協会  
会長 國分 勘兵衛

新年明けましておめでとうございます。

2012年の年頭にあたりご挨拶申し上げます。

全国各地の皆様におかれましては、つつがなく新春をお迎えのことと存じ、心よりお喜び申し上げます。

昨年のスタートは、経済不況からの回復の兆しがようやく見え始め、確実に上向きに転じるような勢いを感じておりましたが、それが1000年に一度の大震災でまさに一変してしまいました。この大震災以来、生活者の意識変化が起こり、人と人との絆があらためて見直され、また節電や自己防衛意識の高まりで生活スタイルそのものにも大きな変化が表れ、価値観の多様化が加速度的に進んでいると思います。そういう意味で2011年は、我が国にとって大きな転換点になった年であり、社会システムの変革についての議論も活発化しました。食品の流通に関してもサプライチェーンの協働体制が再認識され、なかでも卸売業の存在が再評価され、製・配・販がそれぞれ立場を乗り越えてサプライチェーンの改善としての取り組みが積極的に語られるようになってきました。大震災の被害は甚大ではありましたが、この大震災を大きなバネにして新しい流通のステージを生み出していかなければならないと考えております。こうした卸の地位の向上に関する動きがある一方で、公正取引委員会からは取引の適正化の推進について要請をいただきました。独占禁止法の改正以降、弊協会として食品流通のフェアトレードの推進を呼びかけてきましたただに大変残念なことではございますが、この要請に対しましては業界として真摯に受け止め、自戒をこめて今後もサプライチェーンの要として社会的使命を果たしていくよう精進して参ります。

さて本年は、社会的変革が本格的に進展する年と考え、その中で増幅する高齢化への備えとしての買い物環境整備、災害時の商品供給確保に対する社会的要請など食品流通に求められる新しい今日的価値・満足に貢献する流通機能の遂行を目標として、環境変化に対応する自己革新力を持続して、卸の存在価値を主張して食品流通の健全な発展に貢献して参りたいと考えておりますので、本年も変わらず、ご指導、ご鞭撻のほどをお願い申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。